

Press release

2009 年半期決算報告書

2009 年 8 月 20 日公表

- 基礎的 EBITDA¹は 61 億ドル²となり、前年同期比で 47%減少しました。
- 基礎的当期純利益¹は 26 億ドル²となり、前年同期比で 54%減少しました。
- 当期純利益¹は 25 億ドルとなり、前年同期比で 65%減少しました。
- 事業活動によるキャッシュフローは 55 億ドルとなり、前年同期比で 38%減少しました。
- 2008 年 12 月に公約した案件の状況は、以下の通りです。
 - ◉ 2009 年 6 月 30 日時点の純有利子負債(Net Debt)は 391 億ドルとなり、2009 年 7 月 3 日に実施した株主割当増資の完了により、148 億ドル減少しました。Alcan 買収時の借入枠 A 及び B については、全て返済済みです。³
 - ◉ 2009 年上半期に操業コストを 8 億ドル削減できました。2010 年には、25 億ドルの削減を達成する目標です。
 - ◉ 2009 年上半期に約 16,000 名の人員削減を実施し、公約した人員の 14,000 名を超えました。
 - ◉ ネットの設備投資支出は 28 億ドルとなり、前年同期比で 22%減少しました。2009 年の設備投資支出額は、約 50 億ドルを予測しています。
 - ◉ 今年は 37 億ドルの資産売却が発表されました。さらに 8 月 18 日に、Alcan Packaging 事業の大部分を、法的拘束力を持つ形で 20.25 億ドルにて買収するオファーを受けたことを発表しました。
- 2009 年 6 月 5 日に発表した通り、今年度の中間配当金は実施いたしません。
- 2009 年 6 月 5 日、リオティントは、BHP Billiton と法的拘束力を持たない形で西豪州鉄鉱石の生産合併事業の設立について合意しました。

6 月 30 日時点の 6 ヶ月累計

(記載されている場合を除き、ドルは全て億米ドル)	2009	2008 ⁴	増減率
基礎的 EBITDA ¹	60.89	114.57	-47%
基礎的当期純利益 ¹	25.65	55.26	-54%
当期純利益 ¹	24.51	69.51	-65%
事業活動によるキャッシュフロー			
(持分会計適用会社の配当金含む)	55.29	88.44	-38%
一株あたりの基礎的利益 (米セント) ⁵	163.3	352.0	-54%
一株あたりの当期純利益 (米セント) ⁵	189.3	442.8	-57%
一株あたりの通常中間配当金 (米セント) ⁵	-	55.6	n/a

- ¹ 当期純利益及び基礎的当期純利益は、リオティントの株主持分に応じた利益を反映しています。また基礎的当期純利益(Underlying Earnings)の意義及び当期純利益との調整については、英文レポートの45 ページに記載されています。基礎的 EBITDA は、基礎的当期純利益と同じ項目が除外されています。
- ² 基礎的 EBITDA 及び基礎的当期純利益には、それぞれ未開発のカリウム関連資産の売却額が、8.16 億ドル・7.97 億ドル含まれています。
- ³ Alcan 買収時の借入枠 B は、回転信用極度枠であり、この報告書が公表された時点においては 24 億ドルの利用が可能です。Alcan 買収時の借入契約条件によると、株主割当増資による資金の全額をもって、借入枠 A を返済した後、借入枠 B を返済することを要求しています。
- ⁴ 比較対象となっている 2008 年の金額は、Alcan に関する時価会計の修正に伴い、改訂されています。最終的に時価が確定したのは、2008 年の 10 月です。
- ⁵ 2009 年における一株当たりの、基礎的当期純利益・継続事業利益・通常中間配当を算定する際に用いられた株式数には、7 月に実施された株主割当増資に基づき、市場よりも割安な価格で発行された株式が含まれています。比較対象となっている 2008 年の金額は、同じ株式数を用いた形で改訂されています。

会長のコメント

世界的な経済危機及び金属や鉱物価格の急落に対して、リオティントグループは、迅速かつ確固たる対応を取りました。株主割当増資が無事に完了したことで、純有利子負債を 148 億ドル減らすことができました。我々にはまだ多く対処すべきことがあります。財務体質の改善と低コスト化により、従来よりも好ましい状況にあります。

西豪州の操業を対象とした、鉄鉱石の生産合弁事業に関して、法的拘束力のある契約の締結に向けて BHP Billiton と密接に作業しており、とても大きなシナジー効果を生み出すものと信じています。

我々は、2009 年における中間配当を実施しないことを 6 月 5 日に発表しましたが、満足できる業績が達成でき、資産売却が順調に進みつつ、市況が回復することで 2009 年の最終配当については、実施可能であると考えています。2010 年度における現金配当金は、増加した株式数に対してではありませんが、少なくとも 2008 年分の支払額である 17.5 億ドルと同等になると見込んでおります。これ以降、リオティントグループは、過去よりも同額かそれ以上で配当する進歩的な配当金方針を再開し、より長期間にわたり続けていく所存です。

ここ最近価格が反騰していることについて、我々は慎重に捉えています。しかし、新興国市場の発展によって、長期に渡り金属及び鉱物の需要の堅調さが維持されるという根本的な考えは変わっていません。リオティントは各産業内における最高の資産をいくつか保有することにより堅実な事業を営んでおり、景気回復のタイミングがいつであろうと、株主に価値を提供し続けられる位置を確保するために必要な行動を取っていきます。

Jan du Plessis リオティント会長

最高経営責任者のコメント

市況が厳しい状態にあるにも拘わらず、我々の事業は円滑に遂行しています。操業コストの削減は、昨年 12 月に公約した通り順調に進んでおり、またマーケット状況の好転に応じて設備投資支出の予想額を見直しました。

2009 年第 2 四半期の Pilbara における鉄鉱石事業は、年間 2 億トンを超える操業率での操業を維持しており、四半期ベースで過去最高の生産を達成しました。2009 年 4 月 1 日より適用される鉄鉱石ベンチマーク価格につき、日本・韓国・及び台湾の顧客と合意しました。価格については、昨年度の過去最高の価格よりは低下しましたが、過去 2 番目に高い価格となりました。上半期においては、供給がタイトとなったマーケット状況を反映して、受渡ベースのスポット価格が上昇しました。

BHP Billiton との鉄鉱石の生産合弁事業により、世界一流の資産とインフラ設備を持ち合わせた、他に類を見ない鉄鉱石事業が実現されることとなります。これにより、他に例のないほど効率的に、成長マーケットへの供給が可能となります。BHP Billiton との合弁事業設立は、正味現在価値で 100 億ドルを超える大きなシナジー効果をもたらし、株主へ巨大な価値を提供することが出来ると信じています。

Rio Tinto Alcan は、価格が急激に下落した結果、取引状況が深刻な悪影響を受けました。我々は、コストがより高い生産拠点において減産を行うなど、積極的にコスト削減に取り組んできました。これら措置の恩恵が現れ始めてきましたが、最も大きな効果が現れるのは今年の下半期と考えています。高コストのアルミナ拠点については減産を行っており、また 2009 年末までには当社の地金製錬能力の約 12%を閉鎖・売却・又は減産する見込みですが、これはコストカーブの高い側半分にある当社能力の 42%に該当します。更に、ここ数ヶ月におけるアルミナ及びアルミニウム需要の急落に伴い、Weipa における年間ボーキサイト生産量を 500 万トン減産しました。

資産売却は引き続き順調に進んでおり、今年で累計 37 億ドルの資産売却が公表されました。これらの資産売却は、最近の市況を考慮すれば全て公正な価格で実現され、リオティントの資産の質の高さが立証されました。

リオティントは、この困難な時期を乗り越え、より堅実かつ臨機応変な事業を行うために必要な対応をとっています。リオティントは卓越した操業を行い、顧客に対し信頼の置ける供給を行い、株主へ価値を提供しつつ、将来の成長オプションを維持するという点について、引き続き厳格に焦点をあてていきます。我々は自信をもって将来を見つめています。

Tom Albanese リオティント最高経営責任者

当期純利益と基礎的当期純利益

リオティントは、基礎的な事業活動の中身を把握できるようにする為、基礎的当期純利益を開示しています。当期純利益と基礎的当期純利益の違いは、下図の通りとなります。Underlying は、文中基礎的と訳しました。

6 月 30 日までの 6 ヶ月間	2009 年	億米ドル 2008 年 ¹
基礎的当期純利益	25.65	55.26
<i>基礎的当期純利益の除外項目</i>		
権益売却損益 (損失)	(0.12)	14.83
減損戻し-繰入額	(5.34)	(0.03)
為替影響及び金融派生商品	8.20	0.81
Chinalco 違約金 ²	(1.82)	-
リストラ費用/全世界における 人員削減に伴う契約解除費用	(1.04)	-
その他 (売却及び買収対策費用を含む)	(1.02)	(1.36)
当期純利益	24.51	69.51

¹ 比較対象となっている 2008 年の金額は、Alcan に関する時価会計の修正に伴い、改訂されています。最終的に時価が確定したのは、2008 年の 10 月です。

² Chinalco との違約金は、1.95 億ドル(税引前)でした。

リオティントグループの業績に関する補足

2009 年上半期の基礎的当期純利益は 25.65 億ドルとなり、2009 年上半期の当期純利益は 24.51 億ドルとなりました。前者は対前年で 29.61 億ドル減少し、後者は対前年で 45 億ドル減少しました。主要な原因としては、以下の通りとなります。

	基礎的当期純利益	億米ドル 当期純利益
2008 年上半期	55.26	69.51
商品価格	(46.70)	
為替レート	8.94	
販売数量	(2.94)	
インフレ (通常)	(1.66)	
エネルギーコスト	1.87	
その他キャッシュコスト	2.52	
探鉱・評価コスト (未開発鉱区の売却を含む)	10.46	
金利/税金/その他	(2.10)	
小計	(29.61)	(29.61)

権益売却損益 (損失)	(14.95)	
減損戻し-繰入額	(5.31)	
為替影響及び金融派生商品	7.39	
Chinalco 違約金 ²	(1.82)	
リストラ費用/全世界における 人員削減に伴う契約解除費用 その他(売却及び買収対策費用を含む)	(1.04)	0.34
2009 年上半期	25.65	24.51

商品価格

全ての主要商品の価格変動による影響は、基礎的当期純利益を 46.70 億ドル引き下げました。リオティントグループのほぼ全ての主要商品の価格は 2008 年上半期と比較して下落し、銅とアルミニウムの平均価格は 50%、モリブデンの平均価格は 74% 下落しました。2009 年上半期の金の価格は、前年同期比でほぼ同じでした。また、ダイヤモンドの価格は、世界的な経済悪化により、深刻な影響を受けました。

リオティントは、2009 年上半期に 2009 年度の鉄鉱石供給契約に関して、日本・韓国・台湾の顧客と合意しました。前年と比較して、粉鉱の価格は 33% 減で塊鉱の価格は 44% 減となりました。それ以外の顧客に関しても、暫定価格もしくはスポット価格での受渡がされています。リオティントが今年前半に生産した鉄鉱石の約半分がスポット取引にて販売されています。当四半期は、運賃の上昇をうけて CFR ベースのスポット価格は上がりましたが、一方で、海上運賃をのぞいた FOB ベースでみるとスポット価格は比較的一定のレベルで推移しました。

2009 年度 (2009 年 4 月 1 日から開始する 12 ヶ月間) の一般炭契約は、トン当たり 70-72 ドルで決着しました。これは、過去最高を記録した昨年よりも、約 44% 減となりました。2009 年度の原料炭契約は、トン当たり 115-130 ドルで決着しました。これは、過去最高であった 2008 年度の水準よりも約 60% 減となりました。

為替レート

2009 年上半期において、リオティントの大半のコストが生じている通貨に対して、米ドルについて大幅な動きがありました。2008 年上半期と比較し、米ドルは豪州ドルに対して 23% 上昇し、カナダドルに対して 16% 上昇しました。これらの通貨価値の変動は、2008 年上半期の基礎的当期純利益と比較して、8.94 億ドル基礎的当期純利益を押し上げる影響を与えました。

販売数量

西豪州 Pilbara 地域における鉄鉱石の能力拡張及び、Kennecott Utah Copper と Grasberg における銅と金の採鉱品位が上昇したことにより販売数量が増加した一方で、経済の悪化により Rio Tinto Alcan・Alcan Engineered Products・Rio Tinto Iron & Titanium・Rio Tinto Minerals においては、生産削減により販売数量が減少しました。これらの販売数量の変動は、2008 年上半期の基礎的当期純利益と比較して、2.94 億ドル基礎的当期純利益を引き下げる影響を与えました。

エネルギーコスト、その他キャッシュコスト、及び探鉱

管理可能な操業コストを 2010 年までに税前で 25 億ドル削減することや、14,000 名の人員削減といった、リオティントグループの公約に従い、全ての生産拠点や事業所において、コスト削減活動を行って来ました。2009 年上半期には、キャッシュコストの削減により、基礎的当期純利益が 2008 年上半期対比 2.52 億ドル増加しました。積極的な人員削減を通じた全社コスト削減や、生産拠点における操業コスト削減 (一部、コーク、ピッチ、苛性ソーダのコスト上昇により相殺) による Rio Tinto Alcan におけるコスト削減が、この変化の多くを占めています。投入コストの減少に伴い、今年度の下半期には利幅が改善する見込みです。グループ全体におけるエネルギーコストが減少したことで、基礎的当期純利益を 1.87 億ドル押し上げました。

2009 年上半期に進展プロジェクトの評価作業の多くを規模縮小し、また本社における探鉱関連予算を半分よりも少なくしました。それに加えて、より小規模な探鉱鉱区の売却により、2008 年上半期と比較して基礎的当期純利益を 2.49 億ドル押し上げました。リオティントの探鉱方針に基づき、7.97 億ドルのアルゼンチンとカナダにある未開発カリウム鉱区の売却により利益は、基礎的当期純利益として認識され、対前年を比較している上の図の「探鉱・評価コスト」の中に組み込まれています。(合計 10.46 億ドル)

金利/税金/その他

持分会計適用会社を除く、基礎的当期純利益に対する実行税率は、2008年上半期の31%に対し、23%となりました。この減少は、2009年上半期に認識したカリウム関連資産の売却（課税対象外取引）が主な要因で、1回限りのものです。

リオティントグループにおける金利負担は、2008年上半期と比較して1.94億ドル減少しました。これは主に、金利の減少に伴うものです。

基礎的当期純利益の除外項目

2009年上半期に、リオティントグループは中国にあるNingxiaアルミニウム製錬所の権益を売却しました。この取引は、基礎的当期純利益から除外されています。

これ以外で2009年に発表された資産売却は、規制当局の承認がさらに必要となりますが、7.5億ドルのブラジルにある鉄鉱石操業・7.61億ドルの米国にあるJacobs Ranch石炭鉱山・及び12億ドルのAlcan Packaging Food Americas部門の資産売却を含みます。さらにリオティントグループは、Alcan Packaging事業を20.25億ドルで売却する法的拘束力のある提案を受けたことを8月18日に発表しました。これらの資産売却については、中間業績には反映されていません。これらについては、売却が完了した時点で反映されることとなります。

2008年上半期における資産売却には、Cortez Gold 鉱山（リオティント持分40%）の売却、Greens Creek 銀/亜鉛/鉛 鉱山（リオティント持分70.3%）の売却が含まれます。これらの権益の売却による利益は、根元的当期純利益から除外されています。

Alcan Packaging事業は、リオティントグループの貸借対照表上、売却目的資産として表示されているため、その時価評価額から販売手数料を差し引いた額で表示することが求められています。2009年上半期において、Alcan Packaging関連の減損費用を5.22億ドル認識しました。この減損費用の中にはAlcan Packaging事業の売却による、1.67億ドルの税金支払予定額が含まれており、提案された販売構成変更の詳細な調査に基づいています。

Alcan 買収時の借入契約には、リオティントグループの純有利子負債と基礎的 EBITDA の比率が4.5倍よりも大きくならない事を要求していますが、減損費用はこの要求事項に影響を及ぼしていません。

状況の変化と株主からの意見を加味し、2009年6月にリオティントの取締役会は、Chinalcoとの取引に関する提案について変更しました。これに従い、2009年上半期に税前で1.95億ドル（税引後で1.82億ドル）の違約金が支払われることとなり、基礎的当期純利益から除外されました。

リオティントグループでは、2009年上半期に全世界における人員削減プログラムに沿ってリストラ費用及び契約解除費用を1.04億ドル発生させました。この金額については、基礎的当期純利益から除外されました。

2009年6月30日に実施した152億ドルの株主割当増資により、Rio Tinto plcは将来発行する株式に対して英ポンドを受取る権利を持ちました。最新のIFRSの基準によると、Rio Tinto plcの機能通貨が米ドルのため、これは金融派生商品に該当することとなります。金融派生商品の価値は、Rio Tinto plcの株価と米ドル/英ポンドの為替レートにより変化します。割当開始日における金融派生商品の負債評価額は68億ドルあり、これは資本のマイナスとして計上されました。6月30日時点における価値は、主にリオティントグループの株価が下落したため、60億ドルまで減少しました。負債勘定の変動を反映させるため、8.27億ドルの利益が損益計算書に計上されました。これは、基礎的当期純利益から除外され、上図に記載されている「為替影響及び金融派生商品」の8.2億ドルに反映されています。この会計処理は、株主割当増資の目論見書に強調されています。金融派生商品は、2009年7月に株主割当増資が承認された後、消滅し残高は資本に貸方計上されました。これにより全てを考慮すれば、リオティントグループの株主資本の部又は配当可能準備金には、影響を及ぼしていません。さらに、リオティントグループは金融派生商品である為替先物取引契約を結んでいます。これは、外為レートのエクスポージャーを最小化し、株主割当増資の入金が確実にドルで行われる信頼性を高めるために行われます。Rio Tinto Limitedの契約による市場価格の変動は、損益計算書に算入されていますが、基礎的当期純利益からは除外されています。Rio Tinto plcの契約による市場価格の変動は、株式発行費用として処理され、資本剰余金から控除されています。更なる詳細な説明は、英文38ページに記載されています。

キャッシュフロー

持分会社適用会社からの配当金を含む、事業活動によるキャッシュフローは、55.29億ドルで、前年同期比で38%減少しました。

2008年12月に公約したとおり、純有利子負債を2009年までに100億ドル削減するため、2009年上半期におけるリオティントグループの有形固定資産及び無形固定資産の設備投資支出額は28.64億ドルとなり、2008年上半期と比較して8.16億ドル減少しました。これは、西豪州の鉄鉱石鉱山 Brockman4 及び Mesa A の開発、Queensland における Yarwun アルミナ精製所の拡張及び Clermont 一般炭鉱山の建設、遅延されていた Diavik ダイヤモンド鉱山 A418 岩脈の建設、及び Madagascar の イルメナイト鉱山の完了を含みます。

2009年における年間の設備投資支出は、約50億ドルと見込まれます。2010年における現状維持にかかる設備投資支出は25億ドルと見込まれます。経済環境が改善してきているという見地から、リオティントグループは、2010年の設備投資支出計画を見直しています。

2009年上半期に支払われた配当金は8.76億ドルとなり、2008年上半期に支払われた配当金よりも2.07億ドル減少しました。

貸借対照表

純有利子負債は6ヶ月間で3.85億ドル増加し、391億ドルとなりました。これは、事業活動によるキャッシュフローの資金の大部分を、設備投資に利用したためです。新規に負債が46億ドル発生しましたが、41億ドルの返済と1億ドルの為替影響により負債が減少しました。2009年6月30日時点では、負債総資本比率は67.3%となり、利息負担倍率は7倍となりました。

2009年6月30日時点における、売却目的資産及び負債は、ブラジルにおける鉄鉱石の Corumbá 鉱山、Jacobs Ranch の石炭鉱山（従来は Rio Tinto Energy America の一部）、及び Alcan Packaging 部門です。

リオティントは Alcan Packaging Food Americas 部門を12億ドルで、Bemis Company, Inc.に売却する合意に達したことを、2009年7月6日に発表しました。この取引が完了するためには、規制当局の承認を含む、売却完了のための様々な手続が必要となり、2009年下半年に行われると想定されます。

リオティントは2009年8月18日に、Alcan Packaging 事業の大部分を、法的拘束力を持つ形で20.25億ドルにて Amcor が買収するオファーを受けたことを発表しました。この取引が完了するためには、欧米における規制当局の承認を含む、売却予定のための様々な手続が必要となります。

当期利益

IFRS は損益計算書の当期利益に、子会社の外部株主に帰属する収益分も含めて報告することを要求しています。2009年上半期は、当期利益が26.57億ドルで（2008年上半期は、73.28億ドル）その内2.06億ドル（2008年上半期は、3.77億ドル）が、外部株主に帰属する分で残りの24.51億ドル

（2008年は、69.51億ドル）がリオティントの株主に帰属する純利益の部分です。当期純利益及び基礎的当期純利益は、この報告書の焦点となる部分であり、これらはリオティント株主帰属分の金額となります。

配当金

リオティントは2009年6月5日に152億ドルの株主割当増資について発表した際、今年度の中間配当は実施されないであろうと発表しました。リオティントグループは満足できる業績が達成できれば、2009年の最終配当は可能であると考えています。最終配当には、2009年合計の業績、資産売却の進捗、及び市況の回復状況が反映されることとなります。

2010年度における現金配当金は、増加した株式数に対してではありませんが、少なくとも2008年分の支払額である17.5億ドルと同等になると見込んでおります。これ以降、リオティントグループは、過去よりも同額かそれ以上で配当する進歩的な配当金方針を再開し、より長期間にわたり続けていく所存です。

投資プロジェクト

2009年の設備投資支出を減らすという公約に従いつつも、成長オプションを維持して、市況に応じてプロジェクトを再編成していくのが、リオティントグループの意図です。利害関係者との巨額な契約の後、一部のプロジェクトは遅らせ、その他については市場が回復するまで延期することになりました。2009年に焦点をあてる投資プロジェクトは、以下の通りとなります。

【100%ベース、億ドル】

投資プロジェクト (明記されている場合を除き、リオティント持分100%)	承認済プロジェクト資金 枠 (2008年 - 2012年 : 100% ベース)	2009年支出額 (予測 : 100%ベース)	詳細 / 状況
鉄鉱石 - Pilbara における鉄鉱石鉱山及びインフラ設備の拡張 (年間 2.2 億トン以上)	36*	11	Hope Downs の年間 2,200 万トンから 3,000 万トンへの拡張 (100% ベース : 3.5 億ドル、リオティント持分 50%) 2009 年上半期に完了。Brockman4 及び Mesa A の鉱山開発の継続
アルミナ - Yarwun アルミナ精製所の拡張 (年間 140 万トンから 200 万トン)	18	6	Yarwun の拡張については見直し中です。設備投資支出を減らすため、作業を遅らせています。建設予定の変更により、完工時期は 2012 年下半期となりました。
アルミナ - Gove アルミナ精製所の拡張 (年間 200 万トンから 300 万トン)	23	1	Gove は、2009 年には年間 300 万トンの操業率を達成すると見込まれています。
ダイヤモンド - Argyle の坑内掘り及び露天掘りの減産により 2018 年まで寿命を延長	15	1	2009 年 1 月にリオティントは、Argyle の坑内掘りプロジェクトの重要な開発活動までペースダウンをすることを発表しました。
ダイヤモンド - Diavik (リオティント持分 60%) 坑内掘り開発	8	1	このプロジェクトは、ペースを落とし、最初の生産は 2009 年末になる予定です。
原料炭 - Kestrel (リオティント持分 80%) 延長及び拡張	10	1	このプロジェクトは、必要最低限の開発活動のみにペースダウンされ、引き続き 2012 年に石炭の生産を予定しています。
一般炭 - Clermont (リオティント持分 50.1%) Blair Athol とのリプレース	13	3	このプロジェクトは順調に進んでおり、2010 年の第 1 四半期に最初の石炭が生産され、2013 年までにフル生産の年間 1,220 万トンまで増加する予定です。

投資プロジェクト (明記されている場合を除き、リオティント持分 100%)	承認済プロジェクト資金 枠 (2008 年 - 2012 年 : 100% ベース)	2009 年支出額 (予測 : 100% ベース)	詳細 / 状況
アルミニウム - Kitimat アルミニウム製錬所の 近代化 (British Columbia, Canada)	5	1	2008 年 10 月に追加承認が行われ、現状のプロジェクト資金枠が 5 億ドルを超えました。このプロジェクトの時期は遅れています。
アルミニウム - Shipshaw 発電所における 225MW の新タービン建設	2	1	2008 年 10 月に承認され、プロジェクトは順調に進んでいます。2012 年 12 月頃には完了見込みです。
アルミニウム - AP50 プロジェクト	4	1	このプロジェクトは遅れています。

*鉄鉱石事業部にて承認された設備投資額は、Mesa A 開発 (9.01 億ドル)、Brockman 4 開発 (15 億ドル)、インフラ関連 (6.67 億ドル)、及び発電所 (5.03 億ドル) となっています。

リオティントの 2009 年における現状維持にかかる設備投資は、約 20 億ドルと見込まれます。2010 年の設備投資計画は、直近と将来のマーケット状況を分析し、年間を通して見直されます。

新規の探鉱のための 2009 年の予算については、約 60%削減され、1 億ドル(税金・資産売却益前)となりました。

リオティント ビジネスユニット別財務情報

6月30日までの6ヶ月間	リオ	総売上高 (a)		EBITDA (b), (o)		当期純利益 (c),(o)	
億米ドル	持分	2009	2008	2009	2008	2009	2008
	%						
鉄鉱石							
Hamersley (含 Hlsmelt®) (d)	100.0%	40.80	55.95	24.23	33.81	15.61	22.39
Robe River (e)	53.0%	9.61	13.30	6.51	9.22	3.30	4.88
Iron Ore Company of Canada	58.7%	4.25	10.48	1.47	5.88	0.47	2.05
Rio Tinto Brasil	100.0%	0.18	0.69	(0.13)	0.17	(0.16)	0.06
Dampier Salt	68.4%	1.92	1.68	0.93	0.25	0.38	0.07
商品事業部計		56.76	82.10	33.01	49.33	19.60	29.45
評価プロジェクト/その他		0.18	0.44	(0.20)	(0.48)	(0.28)	(0.61)
合計		56.94	82.54	32.81	48.85	19.32	28.84
アルミニウム							
商品事業部計 (*)	(f)	52.22	95.28	(2.16)	24.31	(7.04)	10.83
評価プロジェクト/その他		0.10	0.18	0.10	(0.45)	0.15	(0.41)
合計		52.32	95.46	(2.06)	23.86	(6.89)	10.42
銅&ダイヤモンド							
Kennecott Utah Copper	100.0%	8.75	16.06	4.56	10.83	2.26	6.73
Escondida	30.0%	7.69	19.46	4.54	15.25	2.45	9.12
Grasberg joint venture	(g)	3.20	1.20	2.22	0.64	1.18	0.30
Palabora	57.7%	2.56	3.10	0.53	1.16	0.07	0.34
Kennecott Minerals	100.0%	0.06	0.76	0.02	0.46	0.01	0.25
Northparkes	80.0%	0.55	0.76	0.27	0.35	0.14	0.20
ダイヤモンド	(h)	1.84	5.71	(0.06)	2.39	(0.56)	1.08
商品事業部計		24.65	47.05	12.08	31.08	5.55	18.02
評価プロジェクト/その他		-	-	(1.19)	(1.57)	(0.83)	(1.09)
合計		24.65	47.05	10.89	29.51	4.72	16.93
エネルギー&鉱産物							
Rio Tinto Energy America	100.0%	9.95	8.52	2.82	1.72	1.49	0.65
Rio Tinto Coal Australia	(i)	18.75	17.75	9.42	7.31	5.43	4.01
Rössing	68.6%	1.64	1.98	0.16	1.31	0.02	0.51
Energy Resources of Australia	68.4%	2.45	1.49	1.49	0.73	0.56	0.22
Rio Tinto Iron & Titanium	(j)	5.36	8.89	1.29	3.10	0.28	1.12
Rio Tinto Minerals	(k)	3.79	5.68	0.70	0.99	0.13	0.50
商品事業部計		41.94	44.31	15.88	15.16	7.91	7.01
評価プロジェクト/その他		0.07	0.50	8.16	(0.31)	7.92	(0.29)
合計		42.01	44.81	24.04	14.85	15.83	6.72
その他項目 (Alcan Engineered Products 含む。)		23.21	39.66	(0.65)	1.31	(1.21)	0.08
セグメント内取引		(3.90)	(9.47)	(0.04)	(0.22)	(0.12)	(0.29)
その他				(4.39)	(2.92)	(3.22)	(1.70)
主要探鉱・評価コスト				0.29	(0.67)	0.40	(0.62)
金利 純額						(3.18)	(5.12)
基礎的当期純利益				60.89	114.57	25.65	55.26
基礎的当期純利益の除外項目				(4.64)	20.58	(1.14)	14.25
合計		195.23	300.05	56.25	135.15	24.51	69.51
子会社の減価償却費及びアモチゼーション				(15.59)	(16.46)		
減損費用				(0.16)	(0.06)		
持分会計適用会社の減価償却費及びアモチゼーション				(1.98)	(2.00)		
持分会計適用会社の税金額及び財務活動				(1.78)	(7.39)		
財務活動及び税金考慮前の通常営業活動に基づく純利益				36.74	109.24		

上記の注記に関しては、45 ページをご参照下さい。

(*Alcan Engineered Products を除く)

リオティント ビジネスユニット別財務情報 (続き)							
6月30日6ヶ月間							
億米ドル	リオ 持分 %	設備投資 (I)		減価償却費及び アモチゼーション		営業資産 (m)	
		2009	2008	2009	2008	2009	2008
鉄鉱石							
Hamersley (含 Hls melt®) (d)	100.0%	7.31	7.88	1.89	2.30	68.37	51.70
Robe River (e)	53.0%	3.05	2.90	0.54	0.61	24.18	16.22
Iron Ore Company of Canada	58.7%	0.98	0.80	0.38	0.42	6.20	4.82
Rio Tinto Brasil	100.0%	0.09	0.64	0.03	0.06	-	2.07
Dampier Salt	68.4%	0.04	0.06	0.09	0.11	1.71	1.54
その他		-	0.28	0.06	0.03	0.09	(0.03)
合計		11.47	12.56	2.99	3.53	100.55	76.32
アルミニウム (*)	(e)	8.87	9.67	7.48	7.44	342.77	334.11
銅&ダイヤモンド							
Kennecott Utah Copper	100.0%	0.81	1.62	1.43	1.21	17.11	17.50
Escondida	30.0%	1.29	0.63	0.46	0.48	11.63	8.49
Grasberg joint venture (g)		0.32	0.29	0.21	0.12	4.41	4.26
Palabora	57.7%	0.07	0.17	0.31	0.30	0.98	1.23
Kennecott Minerals	100.0%	0.03	0.33	-	0.04	0.42	0.30
Northparkes	80.0%	0.15	0.41	0.10	0.07	2.64	1.87
ダイヤモンド (h)		1.57	3.62	0.65	0.72	15.46	13.40
その他		0.15	0.01	0.01	-	8.29	8.31
合計		4.39	7.08	3.17	2.94	60.94	55.36
エネルギー&鉱産物							
Rio Tinto Energy America	100.0%	0.75	0.83	0.55	0.64	6.03	10.90
Rio Tinto Coal Australia (i)		1.86	1.97	0.80	0.83	16.88	11.34
Rössing	68.6%	0.12	0.26	0.12	0.09	2.34	2.29
Energy Resources of Australia	68.4%	0.13	0.87	0.26	0.23	2.92	2.12
Rio Tinto Iron & Titanium (j)		2.00	2.41	0.47	0.61	24.58	21.22
Rio Tinto Minerals (k)		0.08	0.23	0.29	0.26	7.81	7.92
その他		-	0.01	0.04	(0.03)	0.32	0.60
合計		4.94	6.58	2.53	2.63	60.88	56.39
その他事業 (Alcan Engineered Products 含む。)		1.14	2.36	1.01	1.61	25.54	28.79
売却目的純資産						35.35	32.04
その他		0.30	0.45	0.39	0.31	(5.20)	10.09
差引：持分会社適用会 社		(2.63)	(2.18)	(1.98)	(2.00)	-	-
合計		28.48	36.52	15.59	16.46	620.83	593.10
差引：株主割当増資関連の名目上の金融派生商品負債						(59.81)	-
差引：純有利子負債						(390.57)	(386.72)
合計 リオティント株主持分						170.45	206.38

上記の注記に関しては、英文 45 ページをご参照下さい。

(*Alcan Engineered Products を除く)

事業内容説明

基礎的当期純利益の比較

2009年上半期の基礎的当期純利益は25.65億ドルとなり、2008年上半期と比較して29.61億ドル減少しました。商品事業部別の分類は、下図の通りで金額の記載がない限り全て億米ドルです。（英文上、百万米ドル単位）

	億米ドル
2008年上半期 基礎的当期純利益¹	55.26
鉄鉱石	(9.85)
アルミニウム（Alcan Engineered Products 除く）	(17.87)
銅及びダイヤモンド	(12.47)
エネルギー及び産業用鉱産物	0.90
商品事業部評価プロジェクト/その他 (7.97億ドルのカリウム関連資産の売却分を含む)	9.36
その他の操業（Alcan Engineered Products 含む）	(1.29)
探鉱、評価及び技術	1.02
金利	1.94
その他	(1.35)
2009年上半期	25.65

¹比較対象となっている2008年の金額は、Alcanに関する時価会計の修正に伴い、改訂されています。最終的に時価が確定したのは2008年です。

各ビジネスユニットに表示されている金額は、全て基礎的当期純利益です。生産量は、リオティントの持分を示しています。

鉄鉱石

	(億米ドル)			
	2009上	2008上	前年比	2008
生産量（百万トン-リオティント持分）	76.8	79.2	-3%	153.4
総売上（以下全て億ドル）	56.94	82.54	-31%	165.27
EBITDA	32.81	48.85	-33%	102.12
基礎的当期純利益	19.32	28.84	-33%	60.17
設備投資	11.47	12.56	-9%	29.96

市況

リオティントは、2009年上半期に2009年度の鉄鉱石価格に関して、日本・韓国・台湾の顧客と合意しました。それ以外の顧客に関しても、暫定価格もしくはスポット価格でのデリバリーがされています。リオティントが今年1月より生産した鉄鉱石の約半分がスポット取引にて販売されています。

操業

2009年上半期の生産量は7,700万トンとなり、2008年上半期と比較して3%減となりました。これは、2009年の年初に大型の台風がPilbaraを襲ったためです。最近進められてきた拡張工事が一段落しPilbaraの鉱山とインフラ設備は、第2四半期に於いて年産2億トンを超える安定した操業を行いました。また、第1四半期の長引いた豪雨と洪水による、6週間の操業停止に追い込まれていたRobe Valleyの鉄道は第2四半期には完全復帰しました。

また 2009 年上半期には、いくつかの記録に残る出来事がありました。Cape Lambert 港での初の 4 船同時停泊操業、そして自動輸送システムの試みの一環としてトラックの完全自動運転により輸送で 500 万トンを送りました。

Hamersley

2009 年上半期の基礎的当期純利益は 15.61 億ドルとなり、2008 年上半期と比較して 6.78 億ドル減少しました。これは、スポット価格の下落とスポットマーケットへの販売比率上昇によるものですが、豪州ドルの下落と最近完了した拡張による数量増により一部支えられました。Hamersley の上半期の利益には、Hismelt の純損失 0.1 億ドル (2008 年上半期の純損失は 0.31 億ドル) を含んでいます。世界の銑鉄価格の下落およびマーケット見通しの悪化により、西豪州の HI Smelt 銑鉄生産設備は、2010 年 4 月までの長期操業停止 (maintenance and care) に入りました。

Robe River

2009 年上半期の基礎的当期純利益は 3.3 億ドルとなり、2008 年上半期と比較して 1.58 億ドル減少しました。これは、ベンチマーク価格とスポット価格の両方が下がったことや、日本からの需要が減少したことに伴う販売数量減、豪雨に伴い鉄道が閉塞されたことに関連した修繕コストが上昇したことにより起きている。

Iron Ore Company of Canada (IOC)

2009 年上半期の基礎的当期純利益は 0.47 億ドルとなり、2008 年上半期と比較して 1.58 億ドル減少しました。これは、販売価格の減少と欧州及び北米の顧客への販売数量が減少したことにより起きている。世界的な金融危機による需要の低迷により、三つの生産ラインにおけるペレット生産が一時的に休止となりました。また、7 月 7 日より 5 週間の夏季操業休止が始まりました。

Rio Tinto Brasil

Corumbá 鉱山においては、顧客需要減により販売数量が減少し、Paraguay における川の水位が低くなり、さらに価格が下落したことで、基礎的当期純利益が 6 百万ドル発生していた 2008 年上半期から一転して 2009 年上半期は基礎的当期純損失が 1,600 万ドル発生しました。

2009 年 1 月にリオティントは、ブラジルにある Corumbá 鉄鉱石鉱山とそれに関連した Paraguay における、河川輸送事業を 7.5 億ドルで売却する契約合意に達したことを発表しました。この売却契約については、関連規制当局の承認が必要となり、2009 年下半期に手続きが完了すると見込んでいます。

Rio Tinto Brasil の資産及び負債は、グループ売却目的資産とグループ売却目的負債に再分類されました。販売が完了するまでは業績は連結対象となります。

Dampier Salt

Dampier Salt は、販売価格の上昇及び豪州ドルの下落により恩恵を受け、当期利益が 0.38 億ドルとなり、2008 年上半期と比較して 0.31 億ドル上昇しました。

鉄鉱石プロジェクト

ギニアの Simandou プロジェクトの評価業務は、規模が縮小された水準で継続されており、プロジェクトの戦略及び開発の予定表は、市場の見込みが改善されてきたことや採掘権の保有条件の明確化の必要性を考慮しながら評価されています。

アルミニウム

	2009 上	2008 上	前年比	2008 年
生産量 (千トン-リオティント持分)				
ボーキサイト	14,182	17,002	-17%	34,987
アルミナ	4,325	4,485	-4%	9,009
アルミニウム ¹	1,889	1,999	-5%	3,981
設備投資 ² (億ドル)	8.87	9.67	-8%	24.17

¹ アルミニウム生産量は、2009 年 1 月に売却された Ningxia 製錬所の生産量が、全期間削除されています。

² 2008 年の設備投資の金額は、Alcan Engineered Products を「その他事業」に再分類したことを受けて改訂した数字です。

	総売上高		EBITDA		億米ドル 基礎的当期純利益	
	上半期		上半期		上半期	
	2009	2008 ¹	2009	2008 ¹	2009	2008 ¹
ボーキサイト&アルミナ	19.24	31.84	(1.45)	4.15	(2.52)	1.33
プライマリー・メタル	38.09	72.74	(1.58)	19.10	(4.90)	8.95
その他	3.06	1.74	0.78	1.18	0.32	0.62
川上セグメント内	(8.17)	(11.04)	0.09	(0.12)	0.06	(0.07)
商品事業部計	52.22	95.28	(2.16)	24.31	(7.04)	10.83
評価プロジェクト/その他	0.10	0.18	0.10	(0.45)	0.15	(0.41)
合計	52.32	95.46	(2.06)	23.86	(6.89)	10.42

¹ 比較対象となっている2008年の金額は、Alcanに関する時価会計の修正に伴い、改訂されています。最終的に時価が確定したのは、2008年です。さらに、2008年の収益は、セグメント内の売上を反映させるため、改訂されました。これは、アルミニウム内で控除されました。

Alcan Engineered Products は、「その他事業」として再分類されました。

操業

経営陣は非常に困難な取引状況を勘案し、生産コストを低減させるため、広範囲に及ぶ閉鎖や減産のプログラムを導入しました。ボーキサイトの年間生産量を5百万トン削減し、コストの高いアルミナ精製能力の減産を行うとともに、2009年末までに、地金製錬能力の12%に相当する合計45万トンについて、売却、閉鎖及び減産を行う予定です。その中には、想定されている Anglesey における製錬事業の中止、Beauharnois の閉鎖、及び欧州・カナダにある高コストの製錬所の減産が含まれています。

Rio Tinto Alcan における現状の地金製錬能力の80%以上は、業界におけるコストカーブの低い側半分にあります。上記の措置により、コストカーブの高い側半分にある Rio Tinto Alcan の地金製錬能力のうち42%分について2009年末までに売却されるか減産されることとなります。

基礎的当期純利益

2009年上半期において Rio Tinto Alcan は6.89億ドルの当期損失を計上しました。2008年上半期の10.42億ドルの当期利益に比べ、17.31億ドルの減益となりました。これは、主にアルミ価格の下落によるものですが、この価格下落により2008年上半期対比で21億ドル利益を引き下げました。減産による販売数量減も2009年上半期の収益にマイナスの影響を与える要因となりました。

米ドルに対する現地通貨の下落と、キャッシュコストの全般的な削減により、2008年上半期対比、それぞれ3.42億ドルと1.5億ドル当期収益を押し上げました。全社における積極的なリストラ、輸送及び合金関連コストの削減、さらに各工場での生産コストの削減は、苛性ソーダ、ピッチ及びコークのコスト増による減益要因を上回る収益効果がありました。投入コストの低減、及びその他のコスト削減の取り組みによる更なる恩恵は、2009年下半期に現れることが見込まれます。

価格

2009年上半期におけるアルミニウムのスポット価格は、平均トン当たり1,422ドルとなり、2008年上半期対比50%減少しました。2009年上半期におけるLME価格下落によるRio Tinto Alcan への影響は、2009年上半期の基礎的当期純利益を2008年上半期対比20.56億ドル引き下げました。

ボーキサイト

2009年上半期のボーキサイト生産量は、Weipa における生産が26%減少したため、2008年上半期対比17%減となりました。2009年4月にRio Tinto Alcan は、Weipa の年間生産量を1,500万トンへと減産することを発表しました(2008年は2,000万トン)。これは、足下でアルミナ及びアルミニウムの需要及び価格が急に落ちているためです。2009年のRio Tinto Alcan の全世界でのボーキサイト生産量は約3,100万トンとなることが予想されます(前年比11%減)。

アルミナ

2009年上半期におけるアルミナの生産量は、2008年上半期対比4%減少しました。2009年1月に発表したVaudreuil 及び Gardanne アルミナ精製所における減産により、2009年におけるアルミナの年間生産は、2008年と比較して6%減少しました。

アルミニウム

2009 年上半期におけるアルミニウムの生産量は、2008 年上半期対比 5%減少しました。これは、カナダの低コストの製錬所での操業が堅調であった反面、カナダ・欧州での減産及びニュージーランドでの変圧器事故による減産により生産がマイナスの影響を受けました。オマーンにある Sohar 製錬所は予定通り生産が立ち上がり、当期において 16.9 万トン(100%ベース)の地金が生産されました。

2009 年 1 月の中国の Ningxia 製錬所売却に続き、4 月末のカナダ Quebec の Beauharnois 製錬所閉鎖、9 月末に想定されている英国 Wales の Anglesey 製錬所における製錬事業の中止、及びその他の様々な減産によって、Rio Tinto Alcan のアルミニウム生産能力は、2009 年末までに 12%低い年間操業率となる見込みです。2009 年の生産量は 380 万トン(リオティント持分)となり、前年比 6%減となる見込みです。

銅及びダイヤモンド

	2009 上	2008 上	前年比	(億ドル) 2008 年
生産量 (リオティント持分)				
銅採鉱量 (千トン)	404.2	390.0	+4%	698.5
銅地金生産量 (千トン)	206.3	161.1	+28%	321.6
モリブデン (千トン)	4.5	5.7	-21%	10.6
金採鉱量 (千オンス) ¹	459	207	+122%	460
ダイヤモンド (千カラット)	6,787	7,853	-14%	20,816
総売上 (以下全て億ドル)	24.65	47.05	-48%	66.69
EBITDA	10.89	29.51	-63%	32.94
基礎的当期純利益	4.72	16.93	-72%	17.58
設備投資	4.39	7.08	-38%	14.68

²2008 年上半期に売却した Greens Creek 及び Cortez の生産は、全ての期間において、金採鉱量から除かれています。

価格

2009 年上半期の銅平均価格は 182 セント/lb で、2008 年上半期と比較して 50%下落しました。金の平均価格は 913 ドル/オンスで、前年上半期とほぼ同じであり、モリブデンの平均価格は 9 ドル/lb で前年上半期と比較して 74%下落しました。2009 年上半期に価格の変動 (暫定価格の変動を含む) が銅及びダイヤモンドグループ全体に与えた影響は、2008 年上半期の基礎的当期純利益と比較して、14.38 億ドル減という結果をもたらしました。

Kennecott Utah Copper

2009 年上半期の基礎的当期純利益は 2.26 億ドルとなり、2008 年上半期と比較して 4.47 億ドル減少しました。銅地金および金の数量の増加、単位あたりのキャッシュコストの減少、及びエネルギーコストの減少は、価格の下落を補う事ができませんでした。製錬所の安定した操業により、2008 年上半期と比較して、アノードの生産量が増えた結果、精錬所における銅地金及び貴金属の生産量も増加しました。モリブデンのマーケットが悪化したため、銅と金に焦点をあてた採鉱手順となり、その結果、銅品位が上昇し採鉱量が増加しました。

Escondida

2009 年上半期の基礎的当期純利益は 2.45 億ドルとなり、2008 年上半期と比較して 6.67 億ドル減少しました。これは、主に銅価格の下落によるものです。暫定価格による調整は当期においてプラスではあるものの、2008 年上半期における暫定価格の影響よりも低くなっています。2008 年下半期における Laguna Seca 選鉱所での支障に続き、2009 年上半期における銅品位の低下及び、選鉱場における粗鉱処理量の低下により、販売数量の減少及び単位あたりのキャッシュコストが増加しました。SAG mill 発動機の故障を修復するため、Laguna Seca における選鉱所の修理が 7 月に開始し、8 月の前半に完了しました。

Grasberg 合併事業

2009年上半期の基礎的当期純利益は1.18億ドルとなり、2008年上半期と比較して0.88億ドル増加しました。合併事業による銅及び金のリオティント持分は、鉱石の品位上昇が寄与し、2008年上半期と比較して大幅に上昇しました。合併事業契約に基づき、リオティントに割り当てられた金のシェアは、2008年においてはありませんでした。Freeportとの合併事業契約に従い、2008年の品位低下による金不足分の繰越を反映させるため、2009年のリオティントの金持分を計算するmetal stripに変更がありました。2009年におけるmetal stripの変更により、Grasberg鉱山の拡張による金の割当分が、415,000オンス減少することになります。銅及び銀のmetal stripに変化はありません。リオティントはGrasbergの生産で、metal strip超過分の40%が持分とされます。

	銅(百万ポンド)	金(百万オンス)	銀(百万オンス)
2008	1,110	1,199	4,158
2009	1,107	2,004	4,203
2010	1,099	1,567	4,296

Palabora

2009年上半期の基礎的当期純利益は0.07億ドルとなり、2008年上半期と比較して0.27億ドル減少しました。南アフリカランドの下落による恩恵を受けましたが、それ以上に銅価格の下落の影響が勝りました。

Kennecott Minerals

2009年上半期の基礎的当期純利益は0.01億ドルとなり、2008年上半期と比較して0.24億ドル減少しました。これは、年初におけるCortez及びGreens Creekのリオティント持分の売却によるものです。

Northparkes

2009年上半期の基礎的当期純利益は0.14億ドルとなり、2008年上半期と比較して0.06億ドル減少しました。銅価格の下落は反映されましたが、採鉱品位と生産が昨年度よりも改善したことにより、単位あたりのキャッシュコストが減少したことで、一部は相殺されました。

ダイヤモンドマーケット

ダイヤモンドの価格及び販売数量は、経済の後退により深刻な影響を受けました。全世界で流動性が低下した事で、流通在庫が低下し、未加工ダイヤモンドのマーケットは悪化しました。

ダイヤモンド

2009年上半期の基礎的当期純損失は0.56億ドルとなり、2008年上半期は1.08億ドルの黒字でした。世界的な経済減退による価格の下落が主な要因でした。この業績を修正するため、Argyleの加工施設を2009年3月から5月まで点検整備のため閉鎖し、6月から操業を再開する等の手段がとられました。Diavikにおいて2回行われる6週間の操業停止のうち、1回目が7月14日から開始し、ダイヤモンドの生産は一時的に停止され、鉱山は補修維持スケジュールに入りました。

銅及びダイヤモンドプロジェクト

近年の経済状況を勘案して、特にLa Granja及びKeystone(Kennecott Utah Copperのオプション)といった、数多くのプロジェクトにおいて、評価作業の規模が縮小されました。

暫定価格

銅の売上の暫定価格による影響は、2009年上半期の基礎的当期純利益を0.94億ドル押し上げました。これと比較して2008年上半期は1.5億ドル利益を押し上げました。2009年6月30日時点で、2.39億ポンドのグループの銅販売量は、暫定価格231セント/ポンドで値決めされました。これらの販売量は2009年下半期に最終価格が決定されることとなります。これと比較して2008年12月31日においては、1.83億ポンドが暫定価格133セント/ポンドで値決めされました。

エネルギー及び産業用鉱産物

	2009 上	2008 上	前年比	(億米ドル) 2008 年
生産量 (リオティント持分)				
石炭 (百万トン)				
米国	60.0	61.6	-3%	130.8
強粘結炭	3.3	3.1	+6%	7.4
その他豪州 ¹	11.1	11.0	+1%	22.1
ウラン (千ポンド)	7,002	6,495	+8%	14,200
チタン原料 (千トン)	656	761	-14%	1,524
ホウ酸塩 (千トン)	190	324	-41%	610
総売上 (以下全て億ドル) ²	41.94	44.31	-5%	109.57
EBITDA ²	15.88	15.16	+5%	48.47
商品事業部操業利益 (税引後) ²	7.91	7.01	+13%	24.91
評価プロジェクト/その他 (税引後) ²	7.92	(0.29)	n/a	3.96
設備投資	4.94	6.58	-25%	15.01

¹ 全期間におけるその他豪州は、2008 年上半期に売却した Tarong 炭鉱の生産量を除外。

² 売上、EBITDA、商品事業部操業利益は、当商品事業部に関連するもので、評価プロジェクトやその他を除いています。

米国石炭 – Rio Tinto Energy America (RTEA)

2009 年上半期の基礎的当期純利益は 1.49 億ドルとなり、2008 年上半期と比較して 0.84 億ドル増加しました。これは、販売価格の上昇・数量増加・エネルギーコストの減少によるものですが、単位当たりのキャッシュコストが増加したことで一部相殺されました。

2009 年 3 月 9 日に発表した通り、リオティントグループは Jacobs Ranch 炭鉱を売却することについて合意に達しました。それに伴い、同炭鉱に関連した資産及び負債は、グループ売却目的資産及びグループ売却目的負債として再分類されました。2009 年下半期に売却が予定されていますが、売却が完了するまでは業績は連結対象となります。

Rio Tinto Coal Australia

2009 年上半期の基礎的当期純利益は 5.43 億ドルとなり、2008 年上半期と比較して 1.42 億ドル増加しました。これは販売価格の上昇及び豪州ドルの下落によるものです。利益減少要因としては、販売品目の変化と、ロイヤリティー及び海上運賃の上昇が挙げられます。

原料炭及び一般炭の生産は、2008 年上半期と比較して増加しましたが、これは採掘条件が良くなり、原料炭の需要が改善したことによります。

ウラン市場

ウランのスポット価格は、安値では 4 月のポンドあたり 40 ドルから高値では 6 月の 55 ドルまで変動するなど、豊富なスポット供給、任意の需要、交錯したマーケット心理により今年は予測不可能性が増しました。このような価格変動にも拘わらず、成約量は依然として高く、2009 年のスポット成約量も引き続き高いことが見込まれます。長期契約市場はより変動性が低く、年初からポンドあたりわずか 5 ドル下落しただけで、価格は年間を通して安定しています。

Rössing

2009 年上半期の基礎的当期純利益は 200 万ドルとなり、2008 年上半期と比較して 0.49 億ドル減少しました。これは、ウラン価格の下落による低い実勢価格、売上高に対する 6%のロイヤリティーが導入されたことによる単位当たりのキャッシュコスト増、及び硫酸とマンガンの投入コストの上昇によるものです。加えて、幾らかの販売数量が上半期から下半期に延期となりました。

Energy Resources of Australia

2009年上半期の基礎的当期純利益は0.56億ドルとなり、2008年上半期と比較して0.34億ドル増加しました。価格は条件の不리한古い契約から、より高い市場価格の環境下において結ばれた新契約に徐々に置き換わったことで、引き続き恩恵を受けることになりました。当期における生産量は、鉱石品位及びプラントの稼働率が上昇したこと、またラテライト鉱石用の精製プラントの操業が開始したことにより、2008年上半期と比較して11%増加しました。

Rio Tinto Iron & Titanium

2009年上半期の基礎的当期純利益は0.28億ドルとなり、2008年上半期と比較して0.84億ドル減少しました。ほぼ全ての商品において、価格の下落が需要の減少を反映しており、顧客側の在庫水準を減らすため、販売数量が下落しました。需要の減少による影響を一部軽減させるため、予定していた炉修と操業停止の延長を行いました。

2009年上半期、QMM(マダガスカル)において、ヘイルメナイト鉱石を初めてカナダに船積みし、また顧客に初めて完成品を船積みしました。

Rio Tinto Minerals

2009年上半期の基礎的当期純利益は0.13億ドルとなり、2008年上半期と比較して0.37億ドル減少しました。産業用鉱産物の生産は、全ての主要国間で経済活動が減少しており、需要低下の影響を引き続き受けています。

エネルギー及び産業用鉱産物のプロジェクト

アルゼンチン及びカナダにあるカリウムプロジェクトの売却が2009年1月に実施され、税引後7.97億ドルの利益を生み出しました。エネルギー及び産業用鉱産物事業部の収益として認識されましたが、リオティントの方針に従い、未開発鉱区の売却損益は基礎的当期純利益内で認識されています。

その他の操業

Alcan Engineered Productsは、経営のレポートラインを反映して、Rio Tinto Alcanからその他の操業に再分類されました。Alcan Engineered Productsの取引状況は、2009年上半期においても依然として厳しい状況です。経済の後退により、全分野での販売数量が減少し、単位当たりの製造コストが上昇しました。リオティントグループは、Alcan Engineered Productsの売却について、引き続きあらゆる選択肢を模索しています。

探鉱及び評価

	2009 上	2008 上	前年比	(億ドル) 2008 年
税引後(費用)/収益	0.4	(0.62)	+165%	(1.24)

本社報告の税引後探鉱費用は、探鉱鉱区の除却益を控除した後のネット金額になっています。

2009年上半期の税引後の探鉱評価関連収益(除却前)は0.40億ドルとなり、2008年は0.62億ドルの費用となりました。2009年上半期において、リオティントグループは0.71億ドル(税引後)探鉱鉱区の売却を認識しました。

探鉱及び評価費用は、2009年にリオティントグループ全体で規模が縮小されました。これは、リオティントが管理可能な操業コストを2010年までに最低でも年間25億ドル削減するという公約に基づいています。2009年の新規鉱山開発にかかる予算は、1億ドル(税前及び売却収入を含まない)となり、約60%減です。

チリにおける、Rio Tinto ExplorationとCodelcoとの提携は延長され、Collahuasiの北部にあるPasacas探掘有望地の追加がありました。

セルビア jadar のリチウムホウ酸塩プロジェクトについては、Rio Tinto Exploration から Rio Tinto Minerals へ移管準備中で、予備事業化調査 (Pre-feasibility study) の評価プログラムが開始されます。

コンゴ民主共和国の北東にある、Orientale 鉄鉱石プロジェクトにおいて、地上から航空磁気異常の測定を開始しました。

価格及び為替レート影響

以下の影響は、個々の商品価格及び為替レートが個別に変化するという仮定に基づき、基礎的当期純利益への影響を予想したものです。本来、為替と商品価格の関係は、非常に複雑で、為替レートの変動は商品価格を変動させ、逆の場合も同様であり相互に影響しあっています。以下の表で示された為替影響は、操業コストの為替レート変動による影響は含んでいますが、外貨建ての運転資本の再評価による影響は除外しています。その為、これらは注意を払って取り扱う必要があります。

	平均価格/為替レート 2009 年上半期	変化	年間基礎的当期純利益への 影響(億ドル)
銅	182c/lb	+/- 18c/lb	2.21
アルミニウム ¹	\$1,422/t	+/- \$142c/lb	3.99
金	\$913/oz	+/- \$91/oz	0.35
モリブデン	\$9/lb	+/- \$0.9c/lb	0.18
豪ドル ¹	71USc	+/- 7.1USc	3.60
カナダドル ¹	83USc	+/- 8.3USc	1.46
南アフリカランド	11USc	+/- 1.1USc	0.34

取締役会からの報告 – 2009 年度上半期

オペレーションレビュー

グループのオペレーションレビューの詳細及び 2009 年 1 月 1 日から同年 6 月 30 日までの結果ならびに将来の展望につきましては、本紙 1 ページから 18 ページをご参照ください。

取締役

当上半期及びそれ以降、Rio Tinto plc 及び Rio Tinto Limited の取締役は以下の通りです。

	注	就任日
会長		
Jan du Pleassis	同監査役会メンバー	2008 年 9 月 1 日
常勤取締役		
Tom Albanese, CEO		2006 年 3 月 7 日
Guy Elliott, CFO		2002 年 1 月 1 日
Sam Walsh, 鉄鉱石事業部 CEO		2009 年 6 月 4 日

2003 年 11 月より会長を務めてまいりました Paul Skinner は 2009 年 4 月 20 日付けで退任いたしました。また同日付にて Dick Evans も取締役を退任（就任日：2007 年 10 月 25 日）しました。Jim Leng は 2009 年 1 月 14 日に取締役及び会長候補として就任しましたが同年 2 月 9 日付けで辞任しました。

2009 年 6 月 30 日以降本レポート日現在（8 月 20 日）まで新たな取締役の就任はありません。

配当

2009 年 6 月 5 日付けの 152 億ドルの有償増資の発表時に告知しました通り、今回の中間配当は見送りとさせていただきます。尚、業績及び資産売却の推移並びに市場環境次第ではありますが、期末配当は従来通り実施できるものと考えております。

主要リスク及び不確定要因

以下は弊社に影響を与えると考えられるリスクです。2008 年度アニュアルレポート 24 ページから 28 ページに列挙しました主要リスク及び不確定要因について、以後 6 ヶ月の情勢変化を加味して再度審査しました。

他にも現在我々の知り得ないリスクも存在するでしょうし、また現在は重要でないと思われるものでも将来重大なものに変化するものも存在すると思われます。またこれらリスクが単独で発出したり或いは複数が同時に重大化したりすることによって弊グループのビジネス及び財務内容は著しくさまざまな影響を受けることになるでしょう。

資産売却が当初予定通りに進展しないリスク→オペレーション及び財務内容に悪影響

2009年6月末までに、総額で37億ドルの資産売却を公表しました。さらに Alcan Packaging ビジネスの大部分に対し、法的拘束力のある買収オファーも現在存在します。これら売却の実行時期はビジネス慣習及び当局の許可の時期等に左右されるため未定です。また個々の当該売却資産の業績やその期末の負債の評価調整等によっても左右されます。

現在当該資産売却プログラムや法的拘束力のある買収提案から得ることの出来る代金の正確な値及び回収の時期については、確定するまで発表することができません。

金利変動リスク → グループの財務コストはベンチマークとなる金利動向次第

ベンチマークとなる金利上昇はグループの変動金利支払いコストを押し上げ、収益性及び財務内容の悪化をもたらします。

BHP とのジョイントベンチャー→ 案件は交渉及び条件次第でこれら条件交渉が合意に至らない場合、部分的或いは全面的中止に至るリスクが存在

BHP とのジョイントベンチャー組成枠組合意は、双方がジョイントベンチャー組成を可能とするのに不可欠な法的拘束力のある正式契約文書を作成していく上で、当該枠組合意に付記された法的拘束力の無い基本原則をベースに交渉を誠実にすべき旨を定めたものです。Rio Tinto と BHP Billiton が、双方を満足させる合意に達する或いは法的に拘束力のある文書の作成に到達するかどうかは確実な保証がありません。また本案件完結のためには、双方株主の同意や当局の許可も必要です。これらのことからジョイントベンチャーの組成及びその時期についても流動的です。

さらに加えて、もし、いずれかの当事者が法的拘束力持つ協定書を結ぶ前に合意したいいくつかの約束事を守らない場合、あるいは法的拘束力のある協定書が結ばれ、又、主たる関係当局の許可が取り付けられた後に当該株主に対して本取引を推奨しない場合、又、株主の承認を受けるための必要な手続きを行わなかった場合、あるいは合意済みの排他的規定違反する場合に於いては、違約金として相手方に2億7,550万ドルを支払わなければなりません。

政治的、法的、経済的不安定、政治的或いは法的圧力、操業地域社会との意見の相違リスク

弊グループの操業する管轄権の範囲は、政治的、法律的、経済的多岐に亘ります。行政改革、政治改革、法改正、政府による規制の変更は、市民生活の不穏、土地収用或いは没収及び国有化を伴います。既存契約の交渉やり直し、既存リース契約・許可事項の破棄、財政政策の見直し（増税、ローヤリティーの増額含む）、通貨規制等はすべてその変化の帰結として発生する可能性があります。賄賂や汚職の結果引き起こされた経済的不安定化は同様に我々の収益性や資金調達能力或いは極端な場合オペレーションの操業可能性にまで重大な悪影響を及ぼす結果となります。

このような圧力が存在する場合、弊社はベストの状態ではオペレーションを維持することは不可能です。また機密保持や知的財産の管理にも支障をきたします。このような状態は地域でのオペレーションの遂行に影響を与えるのみならずグループ全体のオペレーションの結果に悪影響を及ぼすことになります。

商品価格の変動・需要の増減リスク→ グループのビジネス、財務状況そして操業利益に重大な影響を与えます。**確定給付年金制度、退職者健康保健制度の評価額算定の前提条件の変更リスク→ 純利益も上下**

中国は我々の生産する商品に対する需要の重要な源泉であり、中国パイパーに対する輸出の減少は弊社のオペレーション成果に多大な悪影響を及ぼします。

経済と資本市場の悪化は、弊社の資金調達能力に重大な影響を与えます。

買収及び買収後の資産の効率的統合の失敗は弊社のビジネス及びオペレーションの成果に重大なマイナス効果を与えます。

買収した資産や営業権の減耗は、グループのオペレーション結果に重大な悪影響を与えます。

為替相場の乱高下はビジネス及びオペレーションの結果に重大な影響を与えます。

グループのビジネスコスト、営業費用の不十分な減額はビジネス及びオペレーションの結果に重大な影響を与えます。

資本投資の減額は、グループのビジネス及び成長の展望に悪影響を与える可能性があります。

投資費用の不完全回収及び枯渇鉱脈の入替が行われない場合、グループ新規プロジェクトの探鉱及び開発事業は不成功に終わる可能性があります。

資源開発及び操業の中断及び障害はグループの土地及びその鉱区の所有権を脅かされる可能性があります。

グループのオペレーションは資源集中型のため、エネルギー、水、燃料及びその他主要投入物の価格上昇や供給障害はその経済的存在価値を低下させる可能性があります。

温暖化ガス排出規制強化はグループのオペレーションコストに悪影響を与えます。

鉱脈の価値評価額は一定の前提により算定されますが、その土台となる前提が変更になると当然公表数字も変更を余儀なくされます。

労働争議はグループの生産減のみならず費用増を惹起します。

グループは、ある特定の主要社員の継続的な功労に頼っています。

グループの技術は一部検証済みではないものがあり、その技術に故障が起きた場合、グループの費用及び生産性に悪影響を与える可能性があります。

グループの鉱山オペレーションは自然災害に弱く、オペレーション上の困難やインフラの制限はその生産性に重大な影響を与えます。またそのすべてのリスクにおいて付保しているわけではありません。

閉山及び復旧コスト、環境保全のための清掃費用は、法改正・基準の変更及び技術革新等の理由により、しばしば当初予測より上回る場合があります。過少予測或いは予測不能コストはグループの評判やオペレーションの結果に悪影響を与えます。

ジョイントベンチャーやその他戦略的パートナーシップの失敗や、プロジェクトやオペレーションが管理不足でグループの基準に適合しなかった場合、グループの評判や当該プロジェクトやオペレーションの評価に悪影響を与える可能性があります。

健康、安全、環境及びその他規制、標準及び予想が時と共に進化し、将来の予測不能な変化はグループの収益性及びキャッシュフローにマイナスの影響を与える可能性があります。

企業統治 (Corporate Governance)

Rio Tinto の取締役は、高水準の企業統治を維持することこそ、総体的かつ長期にわたる株主への収益還元という目的達成に不可欠であると信じ、またその水準を継続して討議してまいりました。企業統治につきましては、2008 年アニュアルレポート 158 ページから 165 ページもご参照ください。

上半期レポートの発表

英国金融庁 (UK Financial Services Authority) の Disclosure & Transparency Rules 及び豪州証券取引所上場規則 (Australian Securities Exchange Listing Rules) に則り、この上半期レポートは公表されており、www.riotinto.com のウェブサイトでもご覧になれます。

独立監査人の意見表明

Rio Tinto Limited の監査人 PricewaterhouseCoopers は、2001 年会社法大 307C の定めに基づき、ここに独立監査人の意見表明をする。これは本紙 42 ページ上にて再記載され、このレポートの構成要素である。

本取締役からの報告は取締役会の決議に基づき作成されたものです。

Jan du Plessis

会長

2009 年 8 月 20 日

— 英語版からの抜粋 —

About Rio Tinto

Rio Tinto is a leading international mining group headquartered in the UK, combining Rio Tinto plc, a London and NYSE listed company, and Rio Tinto Limited, which is listed on the Australian Securities Exchange.

Rio Tinto's business is finding, mining, and processing mineral resources. Major products are aluminium, copper, diamonds, energy (coal and uranium), gold, industrial minerals (borax, titanium dioxide, salt, talc) and iron ore. Activities span the world but are strongly represented in Australia and North America with significant businesses in South America, Asia, Europe and southern Africa.

Forward-Looking Statements

This announcement includes forward-looking statements. All statements other than statements of historical facts included in this announcement, including, without limitation, those regarding Rio Tinto's financial position, business strategy, plans and objectives of management for future operations (including development plans and objectives relating to Rio Tinto's products, production forecasts and reserve and resource positions), are forward-looking statements.

Such forward-looking statements involve known and unknown risks, uncertainties and other factors which may cause the actual results, performance or achievements of Rio Tinto, or industry results, to be materially different from any future results, performance or achievements expressed or implied by such forward-looking statements.

Such forward-looking statements are based on numerous assumptions regarding Rio Tinto's present and future business strategies and the environment in which Rio Tinto will operate in the future. Among the important factors that could cause Rio Tinto's actual results, performance or achievements to differ materially from those in the forward-looking statements include, among others, levels of actual production during any period, levels of demand and market prices, the ability to produce and transport products profitably, the impact of foreign currency exchange rates on market prices and operating costs, operational problems, political uncertainty and economic conditions in relevant areas of the world, the actions of competitors, activities by governmental authorities such as changes in taxation or regulation and such other risk factors identified in Rio Tinto's most recent Annual Report on Form 20-F filed with the United States Securities and Exchange Commission (the "**SEC**") or Form 6-Ks furnished to the SEC. Forward-looking statements should, therefore, be construed in light of such risk factors and undue reliance should not be placed on forward-looking statements. These forward-looking statements speak only as of the date of this announcement. Rio Tinto expressly disclaims any obligation or undertaking (except as required by applicable law, the UK Listing Rules, the Disclosure and Transparency Rules of the Financial Services Authority and the Listing Rules of the Australian Securities Exchange) to release publicly any updates or revisions to any forward-looking statement contained herein to reflect any change in Rio Tinto's expectations with regard thereto or any change in events, conditions or circumstances on which any such statement is based.

Nothing in this announcement should be interpreted to mean that future earnings per share of Rio Tinto plc or Rio Tinto Limited will necessarily match or exceed its historical published earnings per share.

更なる情報については、以下の場所に連絡して下さい。

ロンドン**Christina Mills**

オフィス：+44 (0) 20 7781 1154

携帯電話：+44 (0) 7825 275 605

Nick Cobban

オフィス：+44 (0) 20 7781 1138

携帯電話：+44 (0) 7920 041 003

アメリカ、南米**Tony Shaffer**

オフィス：+61 (0) 3 9283 3612

携帯電話：+1 202 256 3667

ロンドン**Nigel Jones**

オフィス：+44 (0) 20 7781 2049

携帯電話：+44 (0) 7917 227365

David Ovington

オフィス：+44 (0) 20 7781 2051

携帯電話：+44 (0) 7920 080 978

北米**Jason Combes**

オフィス：+1 (0) 801 204 2919

携帯電話：+1 (0) 801 558 2645

日本

植松 健 / 大木 龍

オフィス：03-3222-2440

豪州**Amanda Buckley**

オフィス：+61 (0) 3 9283 3627

携帯電話：+61 (0) 419 801 349

Tony Shaffer

オフィス：+61 (0) 3 9283 3612

携帯電話：+1 202 256 3667

豪州**Dave Skinner**

オフィス：+61 (0) 3 9283 3628

携帯電話：+61 (0) 408 335 309

Simon Ellinor

オフィス：+61 (0) 7 3361 4365

携帯電話：+61 (0) 439 102 811

E-mail: questions@riotinto.com

高画質な映像は右のリンクより参照可能です。

Website: www.riotinto.comWebsite: www.newscast.co.uk

※当資料はリオティントの Half Year Results 2009 (8月20日公表)の日本語版です。細心の注意を払い作成していますが、あくまでも英語版が正式なレポートである点、ご理解頂いたうえでご利用下さい。また、今年度より財務諸表は割愛させていただきますので、英語版をご参考下さりますようお願い申し上げます。

英語版のダウンロードはこちらから

http://www.riotinto.com/documents/Media/PR756g_Rio_Tinto_announces_underlying_earnings_of_2.6_billion.pdf